

# なかつか 亮



第2回定例会で共産党が条例提案

## 高齢者の入院負担軽減を

### 千代田・新宿につづいて品川区もぜひ!

日本共産党区議団提案の

#### 高齢者の入院負担軽減 支援金支給条例の要旨

- ①対象は75歳以上の品川区民。
- ②入院や日用品購入の負担軽減が目的。  
(ただし、差額ベット代など保険外医療は対象外)
- ③実施は2009年1月から。

備考: 予算は年間約2億円で、対象区民は約3万1000人です。

共産党は第2回区議会定例会に、高齢者の入院費用負担を軽減する支援金制度を創設する条例提案を行いました。すでに、千代田区や新宿区でも同様の制度が始まっております。共産党は以前から「品川区でも実施を」と提案してきましたが、濱野区長はこれを拒んでいるので、今回の議員提案となりました。他の会派にも共同提案の申し入れを行い、現在、回答を待っているところです。

共産党が提案した「高齢者医療入院時負担軽減支援金の支給に関する条例」は、75歳以上の区民が医療機関に入院した場合、月額1万円を限度に支援金を支給するものです。差額ベット代と保険外診療を除いた入院費や下着など日用品の購入、紙おむつ代にも使えるようにして、高齢者の入院の負担を軽減するものです。

この制度は、年間約2億円が必要になります。品川区の基金貯金は600億円超。昨年1年間だけで、150億円も新たに積み立てており、やり繰りは十分可能です。子ども医療費を中学3年生まで無料にしたこの力で、今度は高齢者の医療費負担軽減を。みなさんの応援をお願いします。裏へ

## 区長、他会派に説明 議会ドキュメント

共産党は5日、議長に条例提案を提出。翌6日午前中、濱野区長に条例提案を行うことを説明しました。

濱野区長は「説明は受け止めました。財源についてはどのように考えているのですか」との質問があり、共産党は「財源は積立基金などの運用で可能と考えている。財源の話と合わせて、この制度にこめられた、高齢者の医療にかかる負担軽減を是非、ご理解いただきたい」と説明しました。

6日午後は、自民、公明、民主、無所属の会、無所属クラブ、生活者ネットの各会派に共同提案の申し入れ。私（中塚）は、宮崎克俊区議と一緒に、自民党と無所属クラブに申し入れを行いました。

自民党からは鈴木真澄幹事長と須藤安通副幹事長が対応し「保険外医療は対象外とは、具体的に何ですか」などの質問。共産党は「具体的には差額ベット代などをさします」と答えました。その後、自民党は「一度もちかえって会派で検討します」と述べました。

無所属クラブからは須貝行宏幹事長が対応し「なぜ、所得制限が無いのですか」と質問。共産党は「すでに始まっている千代田、新宿も所得制限なしでスタートしている。税負担は収入によって違うが、社会保障制度は平等にすべきと考えている」と答えました。返事は「会派で相談する」とのことでした。共同提案の申し入れについては、最終的には、6月18日の議会運営委員会を確認されます。

高齢者の耐え難い負担増に怒りの声が広がっています。とりわけ、75歳以上の高齢者は後期高齢者医療制度の新たな負担が暮らしを襲います。共産党は品川区としてできる負担軽減策の実現に全力でがんばりたいと思います。千代田、新宿に続いて、品川でも。議会傍聴もよろしく願います。なかつか亮。



### 議会傍聴のご案内

共産党の一般質問

6月19日（木）午後3時～  
なかつか亮区議

6月20日（金）午後2時～  
菊地 貞二区議

6月23日及び24日は午前10時から5つの常任委員会が開催され、条例や請願などが審査されます。詳しくは共産党控室（5742-6818）

なお、なかつか亮の一般質問は、品川ケーブルテレビで放映されます。

1回目：24日午前9時～  
2回目：28日午後3時～ 録画放送

### 次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

7月11日（金） 午後6時～8時 会場：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231